

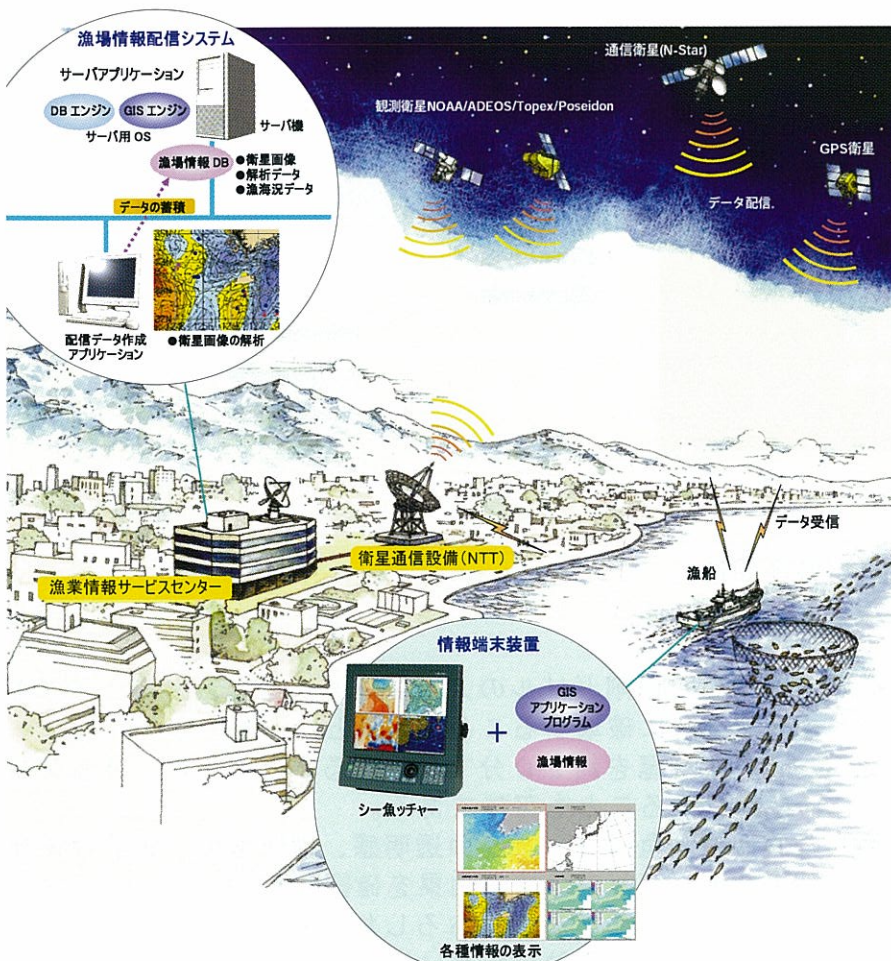
小型マルチ漁場情報受信装置「シー魚タッチャー」

事業名 平成13年度提案公募型有明地域等緊急振興対策研究開発

課題名 小型マルチ漁場情報受信装置「シー魚タッチャー」の開発

近代漁業は情報戦であり、多くの漁船は情報を入力するために狭いブリッジにいろいろな装置を設置しています。もはや経験と勘だけでは漁業が成り立たなくなりつつあるのが現状です。

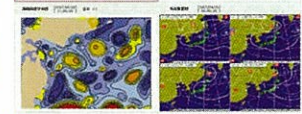
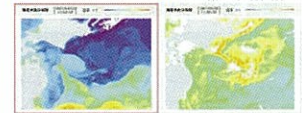
新開発のシー魚タッチャーは各種地球観測衛星が捕らえた最新の漁場情報や気象情報などを、洋上のユーザーに配信するシステムです。シー魚タッチャー1台で漁業情報、海況情報（水温・水色・海面高度）GPS位置情報、気象情報などを受信することができ、またそれらの情報画面を重ね合わせて表示することも可能です。



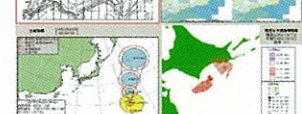
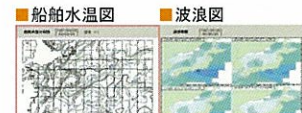
豊富なコンテンツ

- 水温、水色、海面高度、漁場予測図
- 気象（気圧配置、波浪、台風、他）

- 衛星水温画像
- 衛星水色画像

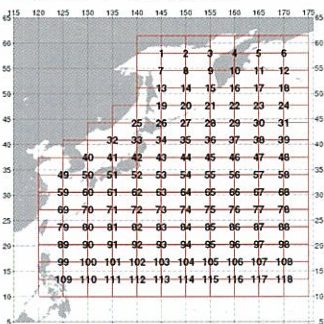


- 衛星海面画像
- 気圧配置図



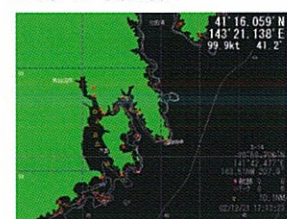
- 船舶水温図
- 波浪図
- 台風情報
- 現況&予測漁場情報

海区コード 衛星情報提供範囲

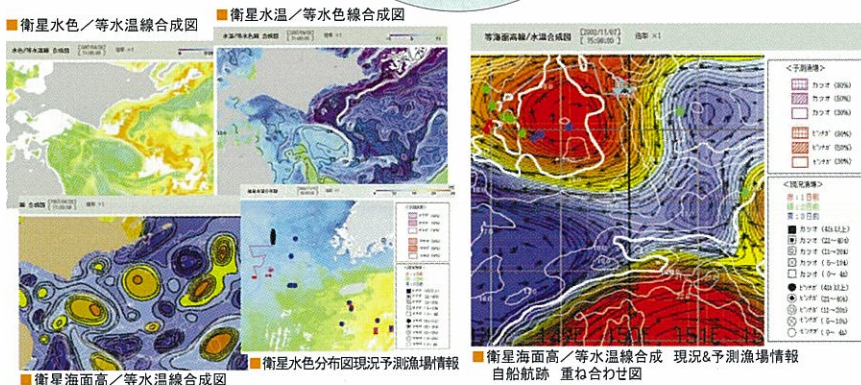


* 一部海面高データが取れない海域があります

カラーコースプロッタ



- 自船位置のプロット
- 画像の拡大・縮小、移動
- デジタルプイ表示可能



事業概要

● 事業の背景および目的

漁業は情報戦であり、多くの漁船は情報を入手するために狭いブリッジ内に多くの装置を設置している。漁業者はこれによって得られる情報と「経験と勘」を交えて、漁場がどこに形成されるかを判断している。

本開発は、①過去の漁場データベース・衛星情報・知識データベースを活用し漁場予測手法を開発する、②沿岸漁業者に画像伝送可能な通信システムを検討する、③沿岸～近海の小型漁船が設置可能な簡易で安価な情報端末装置（シー魚ッチャー）を開発することを目的としている。

● 事業実施期間および内容 平成13年度～14年度

実施項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
(平成13年度) (シー魚ッチャー概要設計) システム全体の概要設計検討												→
(平成14年度) (シー魚ッチャーソフト開発) 漁場位置・漁場形成知識データベース作成	→	→	→									
画像表示・漁場プロット表示ソフト開発		→	→									
画像重ね合わせ・マルチ表示等応用ソフト開発		→	→	→								
クライアント・サーバシステムの構築 (シー魚ッチャーハード開発)					→	→	→					
通信装置設置・ソフト搭載・接続試験						→	→	→				
システム全体の運用試験・評価									→	→	→	→

● 事業の実施場所

社団法人 漁業情報サービスセンター

● 主な成果

- ① 小型マルチ漁場情報受信装置「シー魚ッチャー」の開発に成功した。
- ② 実際に約40隻の漁船が「シー魚ッチャー」を設置し、継続利用されている。
- ③ 洋上の漁船に通信衛星N-STARを通して、毎日画像伝送し海のIT化を促進した。
- ④ GISの駆使およびGPSとの連動により「海のカーナビ」としての役割を果たす。

● 研究成果の応用範囲

- ① 漁業のIT産業の育成への貢献
- ② 勘と経験から科学的データ漁法による若手後継者の育成
- ③ シー魚ッチャー設置により高騰する燃油消費の節約

● 実施組織名

社団法人 漁業情報サービスセンター

太洋無線株式会社

(株) ベーシックエンジニアリング (旧：ジーイーネット株)